



MORI SEIKI

THE MACHINE TOOL COMPANY

2007年3月期 決算説明資料

2007年5月8日

本資料には将来の業績見通し及び事業計画等に関する記述が含まれております。
それらにつきましては、各資料の作成時点における経済環境や事業方針などの一定の前提に基づいて作成しております。
従いまして、実際の業績は、様々な要素により、これらの業績見通しとは異なるリスクや不確実性があることをご承知おき下さい。



2007年3月期の状況



売上・利益の大幅増加

決算概要

- **売上高 1,723億円 前年度比18.5%増加。**
4月修正予想から13億円増、
過去最高売上高を更新。
- **営業利益 250億円 前年度比53.5%増加。**
4月修正予想から10億円増。
- **受注は高原状態で推移。**
- **Mori-568PLAN2年目はほぼ目標達成。**

順調な拡大を維持

損益計算書(連結)

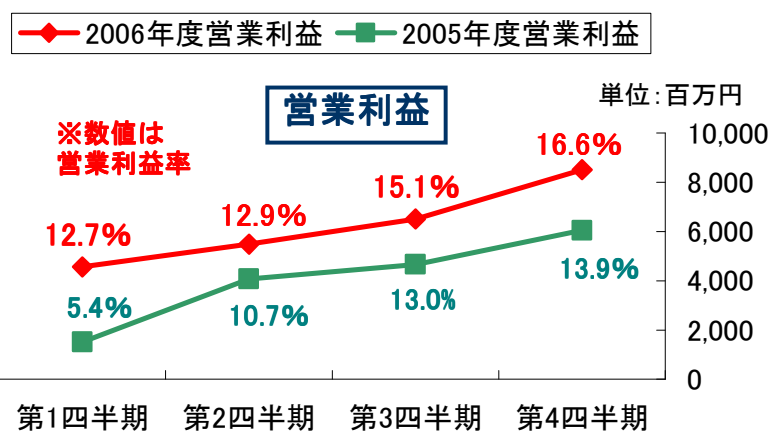
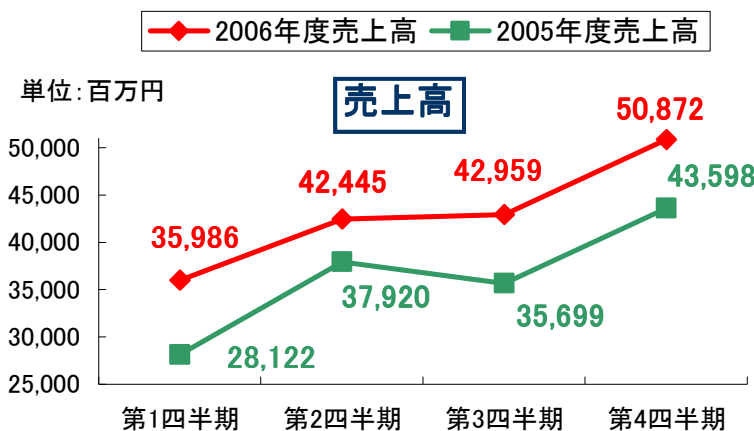
(百万円)	2006/3期		2007年3月期		
	通期実績	通期予想(期初)	通期実績	前年比	前年比率
売上高	145,339	157,500	172,262	26,923	118.5%
営業利益	16,294	20,000	25,043	8,749	153.7%
(売上高比率)	11.2%	12.7%	14.5%	-	-
経常利益	15,902	19,500	24,716	8,813	155.4%
(売上高比率)	10.9%	12.4%	14.3%	-	-
税引前利益	15,154	-	19,403	4,248	128.0%
当期利益	13,801	11,200	16,194	2,393	117.3%
(換算レート 1US\$=)	(113.93)	(107.00)	(117.00)		
(1EURO=)	(138.12)	(128.00)	(151.00)		



四半期推移の特徴変わらず

売上・営業利益 四半期推移

(百万円)	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
2006年度売上高	35,986	42,445	42,959	50,872
2005年度売上高	28,122	37,920	35,699	43,598
2006年度営業利益	4,554	5,475	6,505	8,509
2005年度営業利益	1,505	4,072	4,655	6,062



好財務を堅持

貸借対照表推移(連結)

(百万円)	2006年3月期		2007年3月期		(百万円)	2006年3月期		2007年3月期	
	3月31日実績		3月31日実績	増減		3月31日実績		3月31日実績	増減
資産の部					負債・資本の部				
流動資産	89,365	97,694	8,329		流動負債	26,032	31,104	5,072	
現金預金	31,582	29,959	-1,623		買掛金	9,697	11,612	1,915	
売掛債権	29,961	32,916	2,955		短期借入金	1,320	1,500	180	
在庫	25,063	29,904	4,841		一年以内返済長期借入金	5,084		-5,084	
その他	2,759	4,915	2,156		その他流動負債	9,931	17,992	8,061	
固定資産	73,413	71,340	-2,073		固定負債	19,972	6,894	-13,078	
建物・構築物	25,100	23,067	-2,033		新株予約権付社債	9,333	3,920	-5,413	
機械・設備	5,814	7,004	1,190		長期借入金	5,124		-5,124	
土地	21,016	15,533	-5,483		その他固定負債	5,515	2,974	-2,541	
無形固定資産	2,952	4,092	1,140		少数株主持分	425	545	120	
その他固定資産	18,531	21,644	3,113		資本合計	116,347	131,036	14,689	
資産の合計	162,778	169,034	6,256		負債・資本の部合計	162,778	169,034	6,256	
(換算レート 1US\$=)	(117.48)	(117.00)			(換算レート 1US\$=)	(117.48)	(117.00)		
(1EURO=)	(142.80)	(151.00)			(1EURO=)	(142.80)	(151.00)		



高水準の資産効率、株主資本比率77%

回転期間・自己資本比率推移(連結)

	2006年3月期 通期	2007年3月期 通期	
	通期実績	通期実績	増減
売上債権回転期間	2.47	2.29	-0.18 ヶ月
棚卸資産回転期間	2.07	2.08	0.01 ヶ月
仕入債務回転期間	0.80	0.81	0.01 ヶ月
固定資産回転期間(有形)	4.60	3.44	-1.16 ヶ月
借入金回転期間(含む社債)	1.72	0.80	-0.92 ヶ月
株主資本比率	71.5%	77.2%	5.72 %

借入返済継続 より良好なCF水準

キャッシュフロー計算書(連結)

(単位:百万円)	2006年3月期 通期	2007年3月期 通期
	2005年4月～ 2006年3月	2006年4月～ 2007年3月
営業活動によるCF	17,128	23,495
投資活動によるCF	-3,001	-8,082
財務活動によるCF	4,524	-16,989
現金および同等物の増加額	18,810	-1,623
現金および同等物の期首残高	12,772	31,582
現金および同等物の期末残高	31,582	29,959

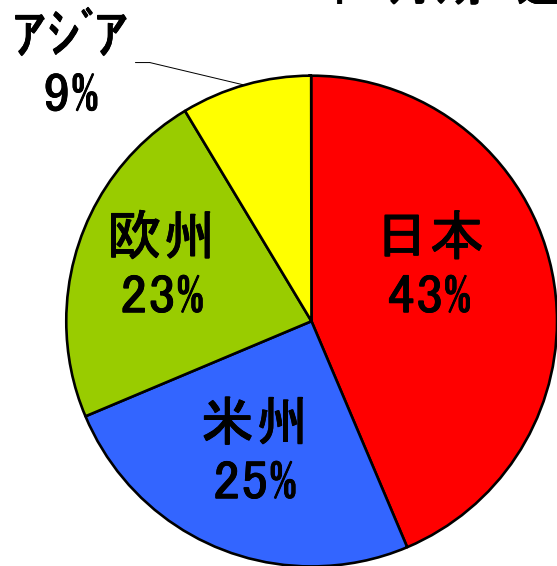
海外売上が大幅伸張

地域別売上高比率

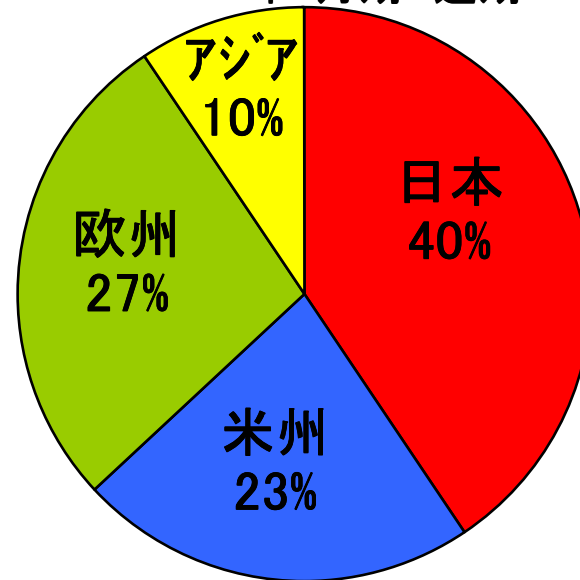
(百万円)		日本	米州	欧州	アジア	合計
売上高	2007年3月期 通期	69,939	38,886	46,954	16,483	172,262
	2006年3月期 通期	63,218	36,421	33,303	12,397	145,339
増減率		110.6%	106.8%	141.0%	133.0%	118.5%

※セグメント：海外売上高ベース

2006年3月期 通期



2007年3月期 通期





受注環境

- 工作機械8社受注状況
- 生産・受注・在庫

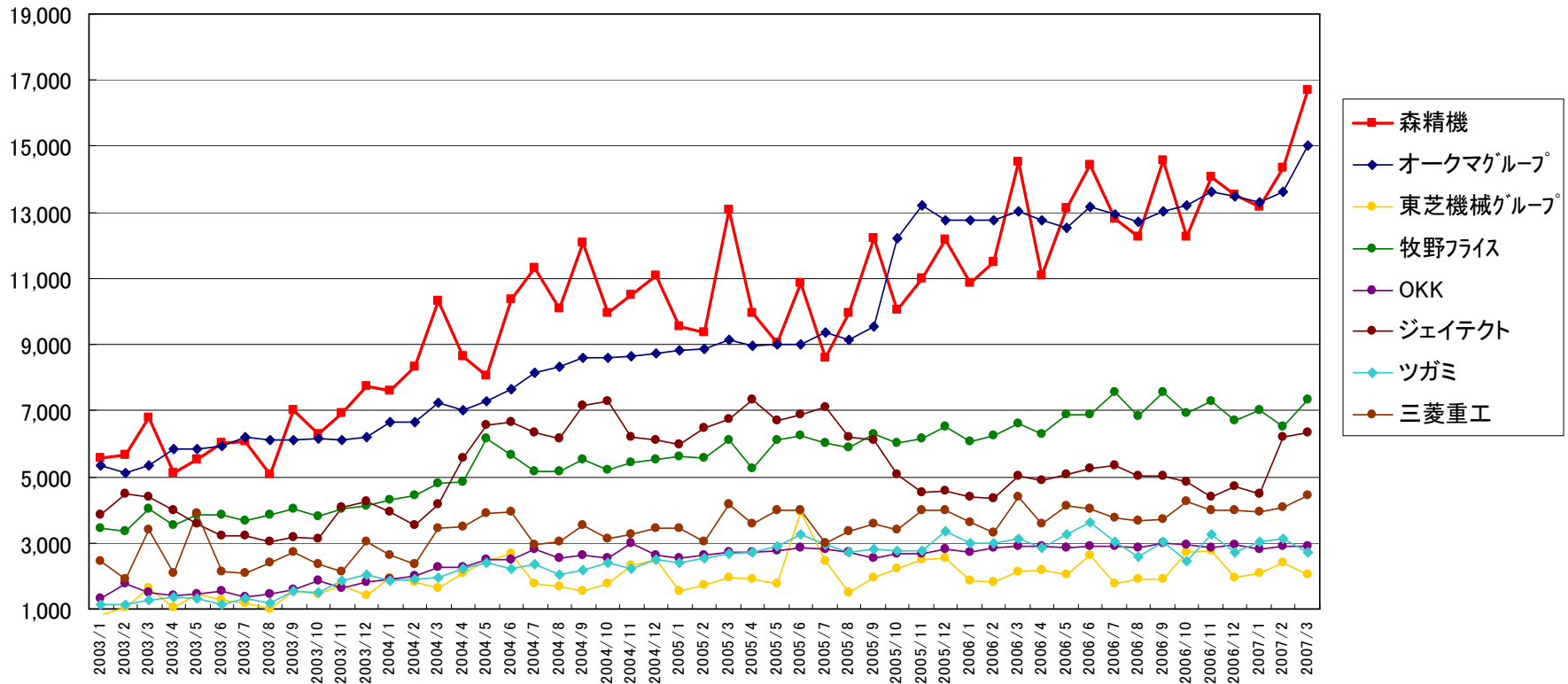


期末に掛けて一段の伸長

工作機械8社受注状況

工作機械主要8社受注総額

(百万円)

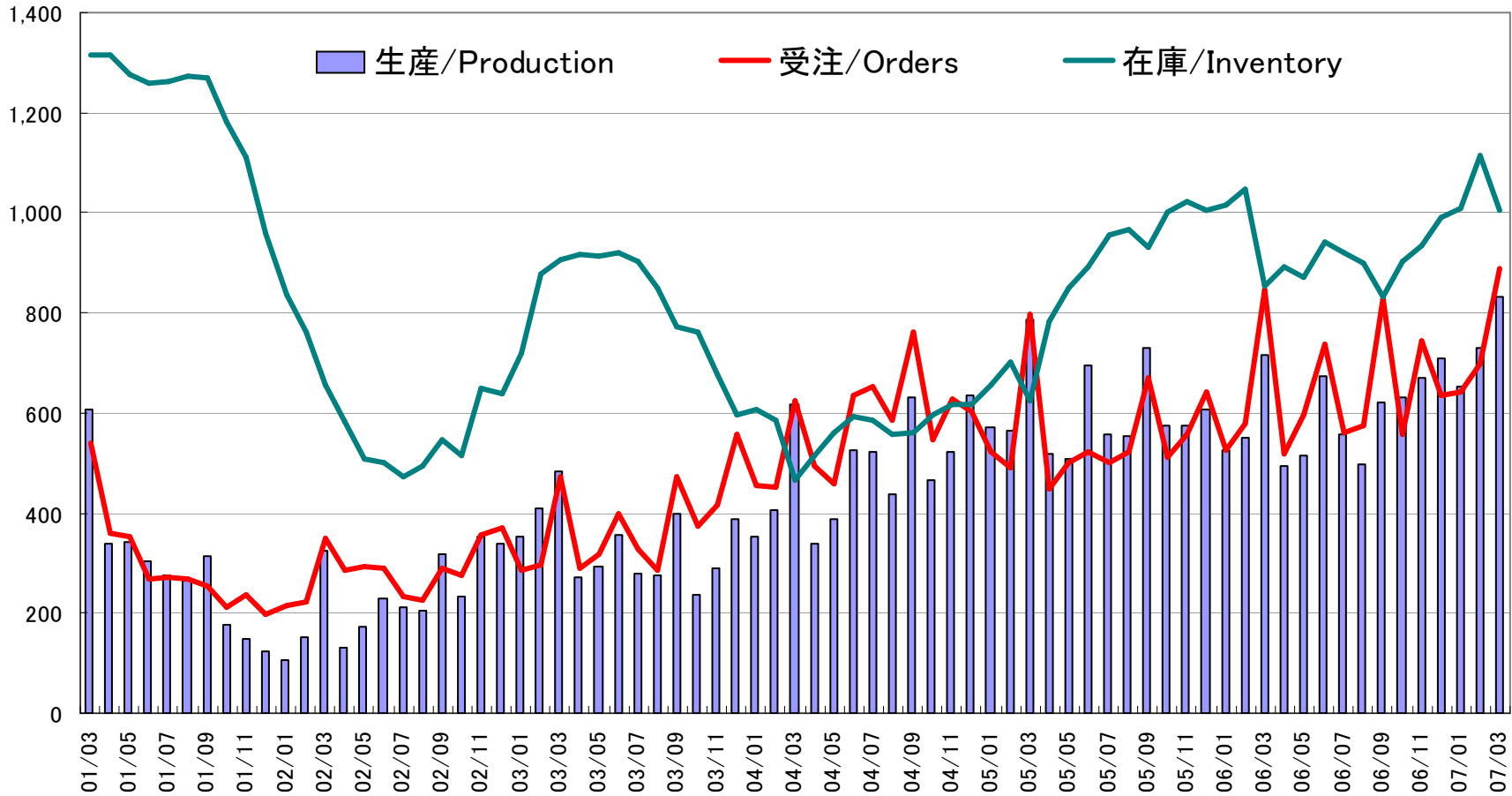




短納期のため在庫維持

生産・受注・在庫台数推移

台数/Units





2008年3月度の計画

今期からのさらなる成長

2008年3月期予想概要

- 売上高 1,880億円 前年度比9.0%増加。
営業利益 280億円 前年度比11.2%増加。
⇒ **<前年度下期のペース> × 2**
- Mori-568PLAN最終年は、
次期 PLANへの過渡期として位置づけ。
<生産拠点・他 インフラの整備>
<採用・教育・人材開発の拡充>

前下期ペースでの計画値

2008年3月期通期 連結業績予想

(百万円)	2007/3期	2008年3月期			
	通期実績	中間期予想	通期予想	前年比	前年比率
売上高	172,262	94,000	188,000	15,738	109.1%
営業利益	25,043	14,000	28,000	2,957	111.8%
(売上高比率)	14.5%	14.9%	14.9%	-	-
経常利益	24,716	14,000	28,000	3,284	113.3%
(売上高比率)	14.3%	14.9%	14.9%	-	-
税引前利益	19,403	-	-	-	-
当期利益	16,194	8,400	16,800	606	103.7%
(換算レート 1US\$=)	(117.00)	(117.00)	(117.00)		
(1EURO=)	(151.00)	(151.00)	(151.00)		

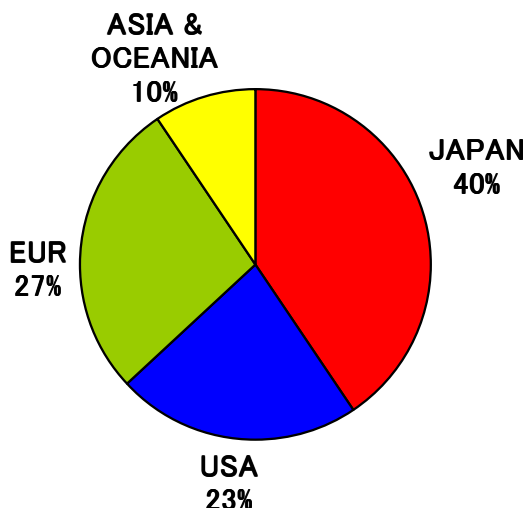
欧亜での高い伸び

2008年3月期通期 地域別売上目標

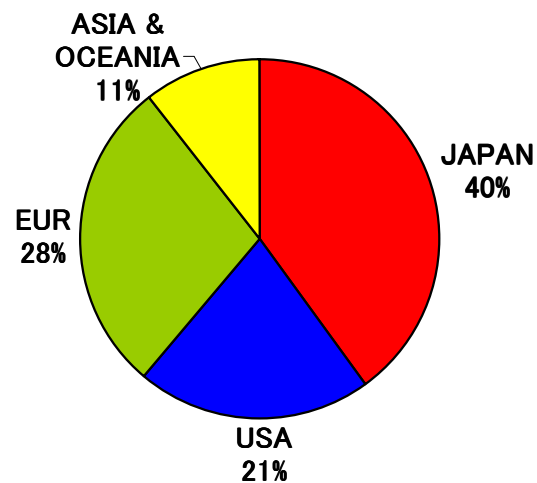
(百万円)		JAPAN	USA	EUR	ASIA & OCEANIA	合計
売上高	2008年3月期 通期 (現地通貨ベース)	75,000	40,000 342(100万\$)	53,000 351(100万EUR)	20,000	188,000
	2007年3月期 通期 (現地通貨ベース)	69,939	38,886 332(100万\$)	46,954 311(100万EUR)	16,483	172,262
	増減率	107.2%	102.9%	112.9%	121.3%	109.1%
	(現地通貨ベース)		103.0%	112.9%		

※セグメント：海外売上高ベース

2007年3月期 通期



2008年3月期 通期





設備投資計画

2007年度 設備投資計画

(単位:百万円)

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度(予定)
設備投資	8,328	7,239	10,380	9,160
リース	1,276	3,691	5,049	5,240
減価償却	5,099	5,289	4,982	5,200
設備機械投資額	2,000	7,000	2,000	4,000

配当政策

業績連動＋安定配当＋記念配当

		年間 配当	中間 配当	基準日	支払日		期末 配当	基準日	支払日
1997.3	結果	7.5		1996.9	1996.12		7.5	1997	1998
1998.3	結果	10		1997.9	1997.12		10	1998	1999
1999.3	結果	10		1998.9	1998.12		10	1999	2000
2000.3	結果	6		1999.9	1999.12		6	2000	2001
2001.3	結果	7		2000.9	2000.12		7	2001	2002
2002.3	結果	5		2001.9	2001.12		5	2002	2003
2003.3	結果	5		2002.9	2002.12		5	2003	2004
2004.3	結果	10		2003.9	2003.12		10	2004	2005
2005.3	結果	20		2004.9	2004.12		20	2005	2006
2006.3	結果	40	20	2005.9	2005.12		20	2006	2007
2007.3	従来予定	40	20	2006.9	2006.12		20	2007	2008
2007.3	修正	44	20	2006.9	2006.12		24	2007	2008
2008.3	予定	50	25	2007.9	2007.12		25	2008	2009



Mori-568PLAN



2007年3月期の結果

Mori-5	目標	実績
・売上	1,658億円	1,723億円 ○
(世界シェア)	4.7%	4.9%) ○

Mori-6	目標	実績
・売上原価率	61.7%	59.4%
(原材料比率)	46%	44.7%)

Mori-8	目標	実績
・月産(年間平均)	644台	632台
	下期平均704台 ○	3月 831台◎



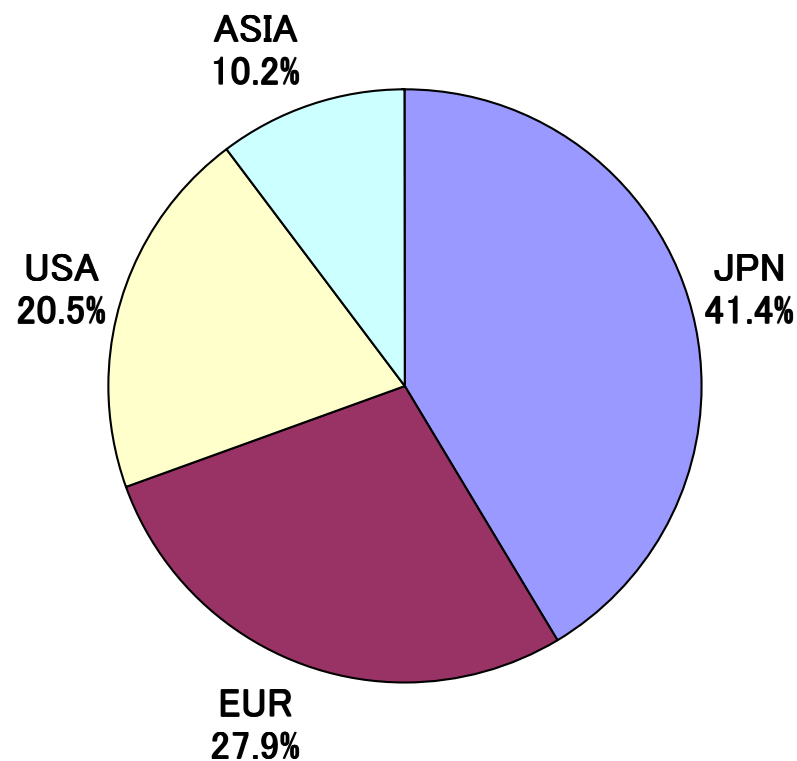
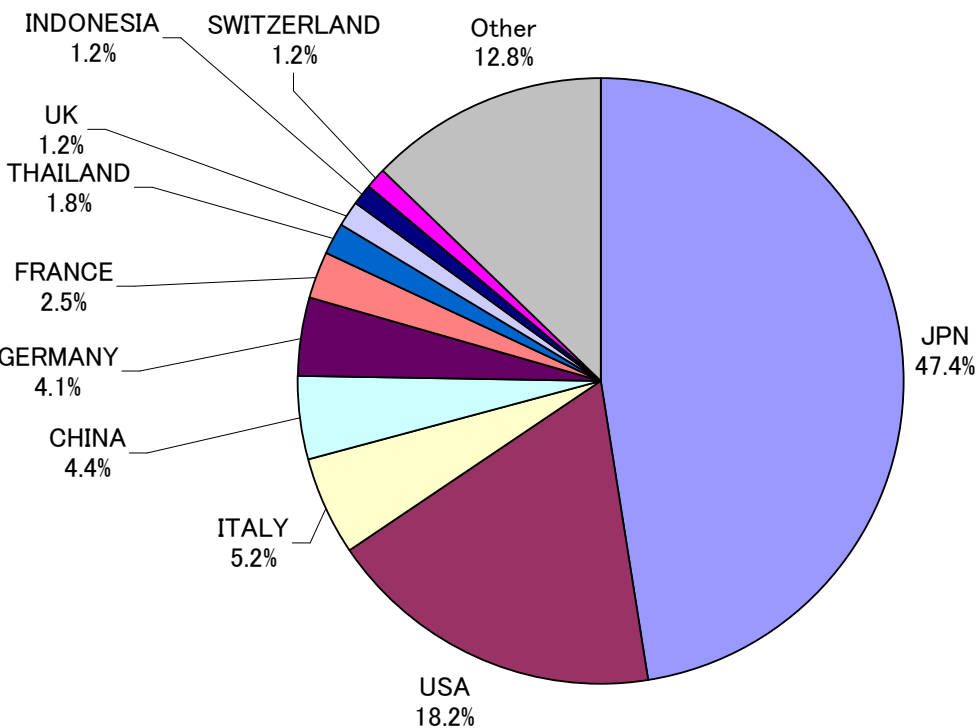
当社受注・販売内容の分析

- ・受注状況
(地域・業種・顧客先従業員数別)
- ・重要顧客部の取り組み
- ・独自技術
- ・新機種

2007年3月期地域別受注状況

【台数内訳】

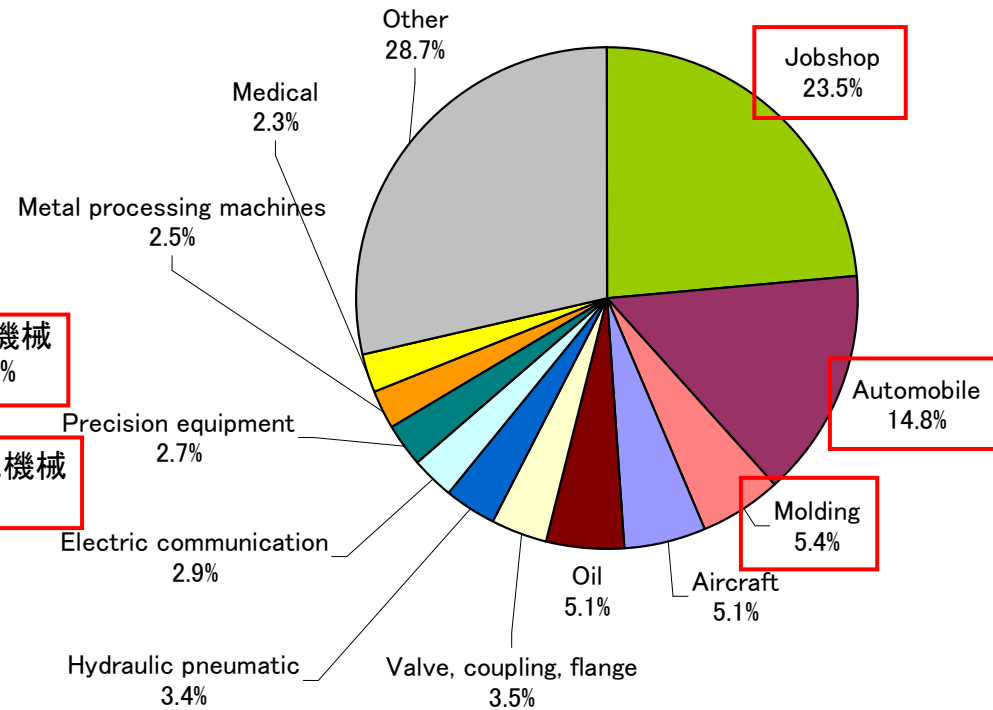
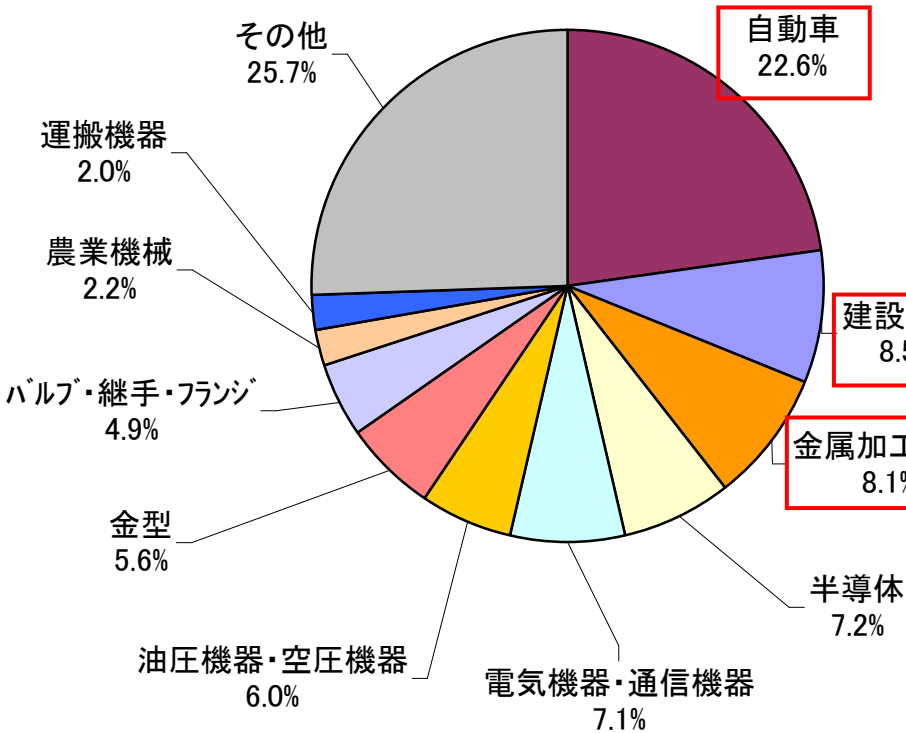
【金額内訳】



2007年3月期業種別受注状況(台数ベース)

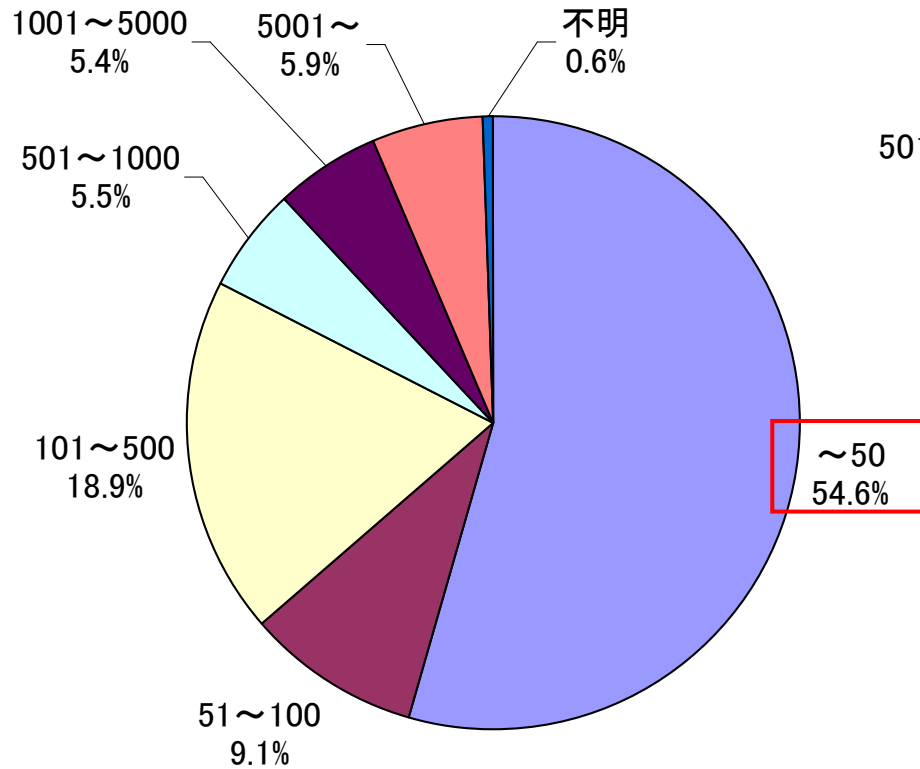
【国内】

【海外】



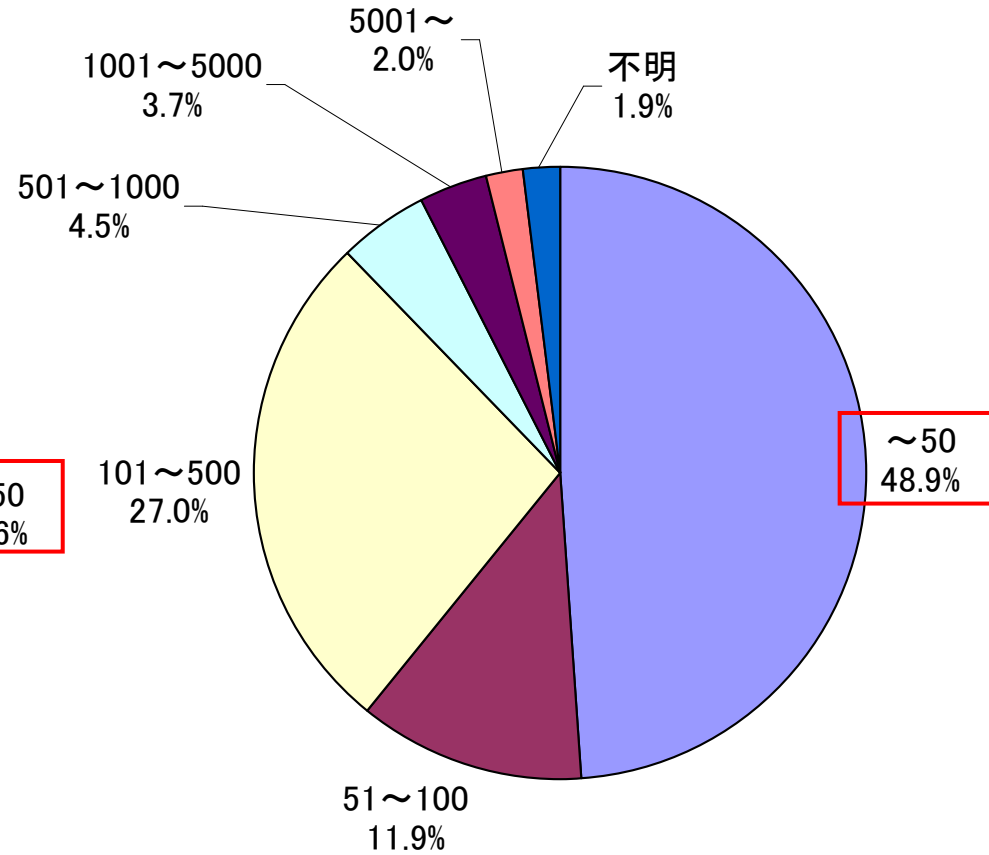
2007年3月期顧客先従業員数別受注状況

【国内】



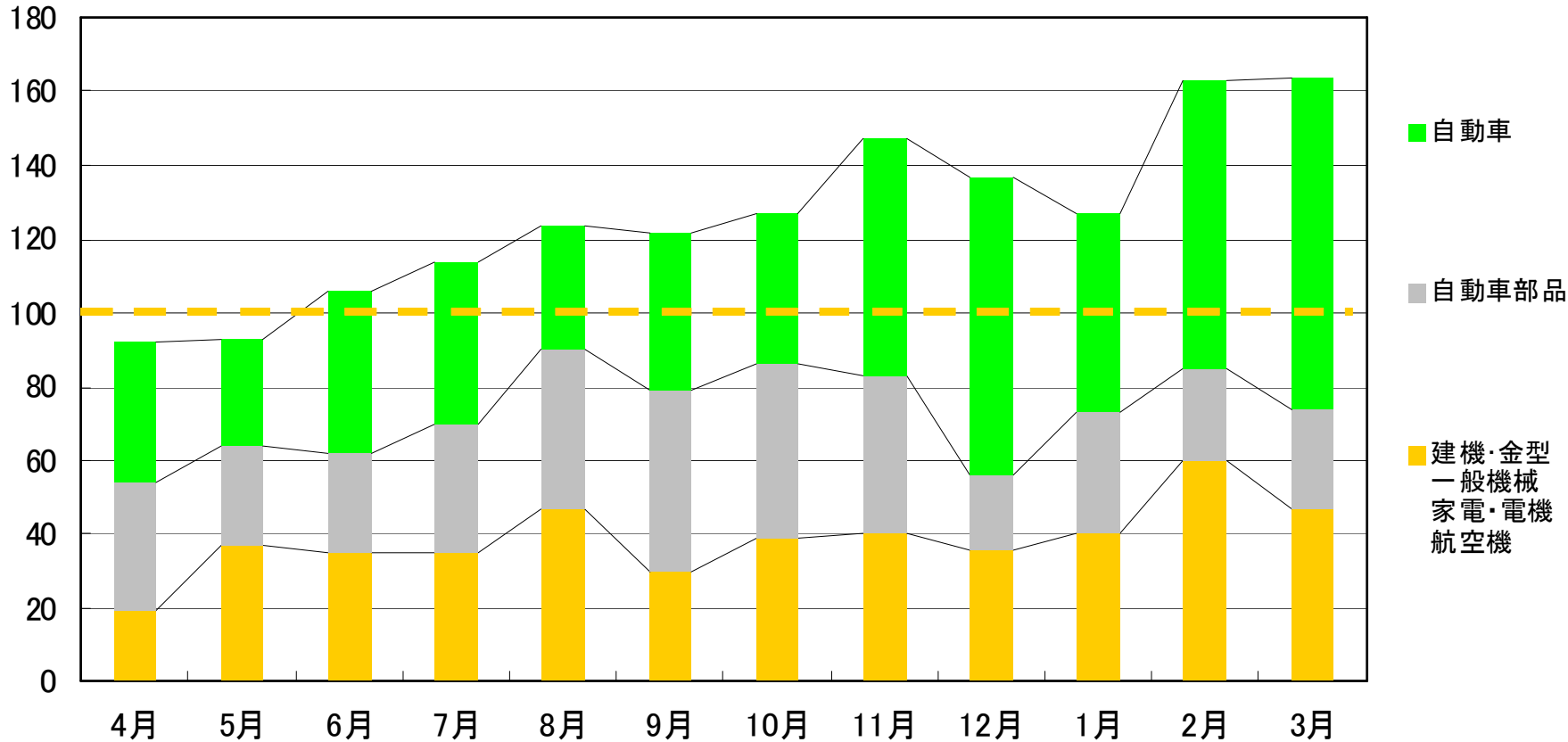
【海外】

(台数ベース)



各業種TOP企業からの評価

重要顧客部の状況：訪問回数



2007年3月期：平均126回 ← **2006年3月期：平均79回**

独自性の高い森精機の技術



重心駆動

振動を最小限に抑え、
加速度を最大限に高める



ダイレクト・ドライブ方式モータ

バックラッシゼロ
世界最速の旋回軸駆動方式



オクタゴナルラム

熱変位を抑え、
優れた直進性を実現



ビルトインモータ・タレット

発熱、振動を最小限に抑制
伝達効率の向上

詳しくは当社HP (<http://www.moriseiki.com>)、カタログ等を御覧ください。

2007年3月期発表新機種(1/3)



DuraVertical

(2006年6月発売開始・10ヶ月間)



DuraTurn

(2006年6月発売開始・10ヶ月間)

DURA SERIES 計946台



2007年3月期発表 新機種(2/3)



NH5000DCG

(2006年6月発売開始・
10ヶ月間)



NMH6300DCG

(2006年6月発売開始・
10ヶ月間)

NV6000DCG

NVD6000DCG

(2006年5月発売開始・
11ヶ月間)



2007年3月期発表新機種(3/3)



NMV5000DCG

(2006年11月発売開始・
5ヶ月間)



NZ2000 T3Y3

(2007年1月発売開始・
3ヶ月間)



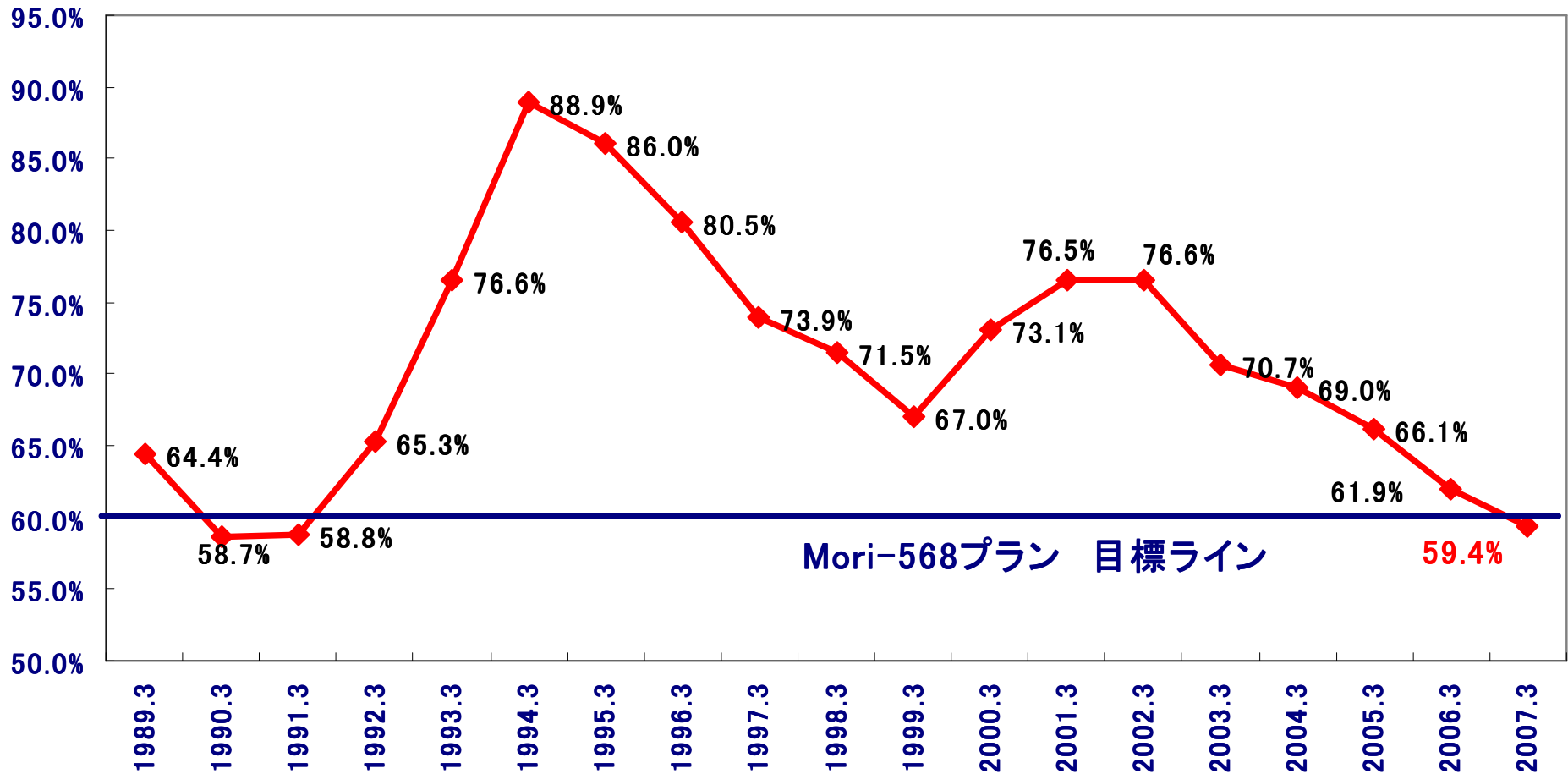
生産効率改善の施策

- ・原価率
- ・内製環境
- ・無償修理期間を延長



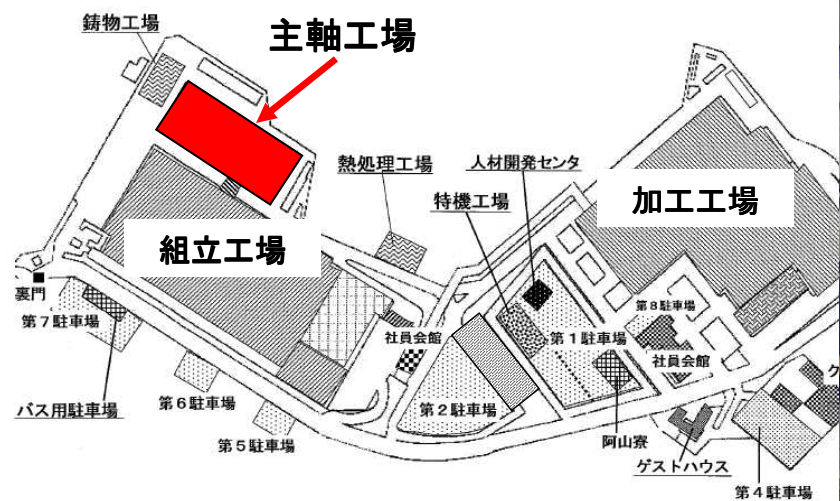
MORI-6

売上高原価率推移



主軸工場完成 (2006年8月)

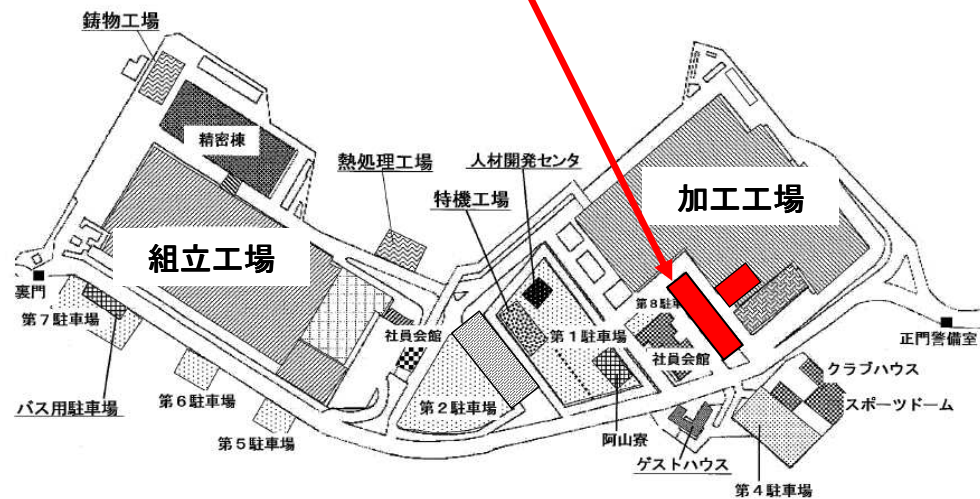
伊賀事業所 (配置図)



ボールねじ工場完成 (2006年8月)

伊賀事業所 (配置図)

ボールねじ工場



ボールねじ研削エリア

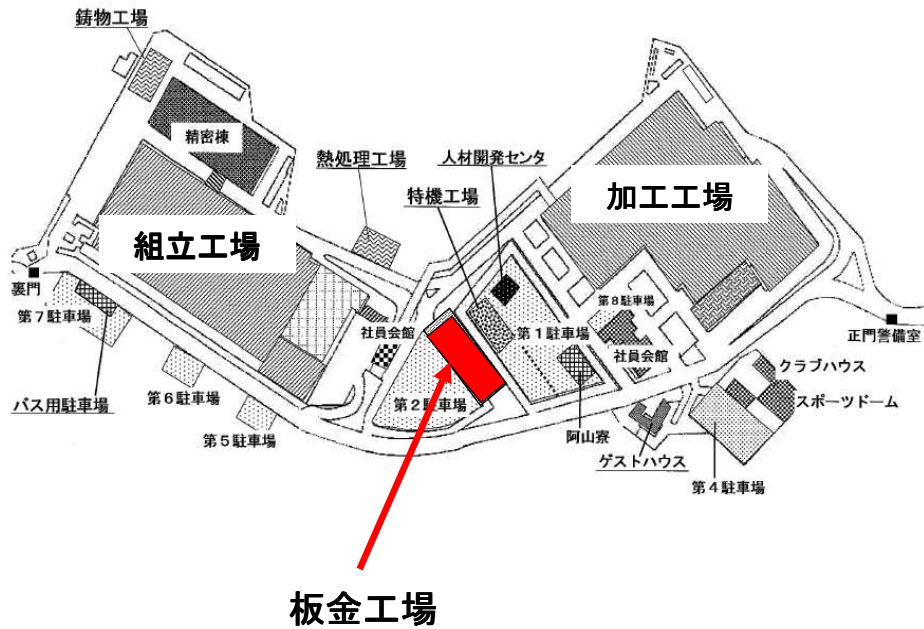
雄ねじ研削盤	11台
雌ねじ研削盤	7台
円筒研削盤	9台



板金工場完成 (2006年8月)

伊賀事業所 (配置図)

株式会社森精機製作所伊賀事業所 構内図



板金工場全景





機械本体2年間の保証

2007年4月1日売上機より

・国内

2年間の部品保証、作業費も無償

・海外

2年間の部品保証、1年間の作業費無償

※一部高速回転の主軸ユニットの保証は1年

※詳しくは、各TCへお問い合わせ下さい



グローバルな活動の展開

- ・DIXI社技術紹介
- ・他地域概況



DIXI社技術紹介

高精度を生む作業環境



組立ライン

- 温度変化 $\pm 0.2^{\circ}\text{C}$ 未満

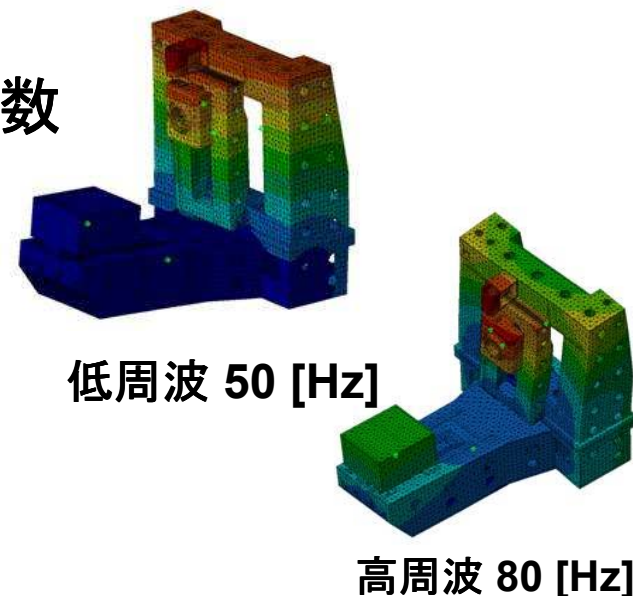
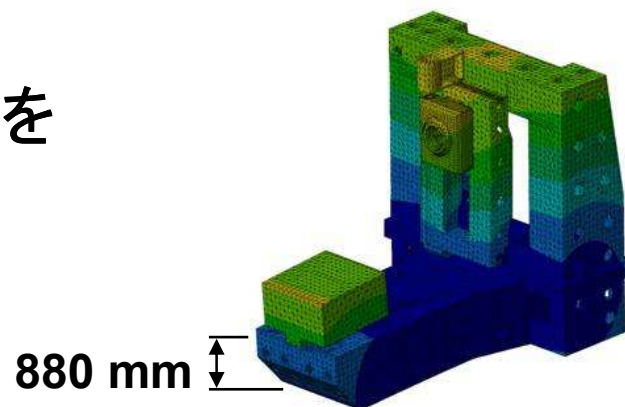
測定室

- スイス政府機関METAS (Swiss Federal Office for Metrology)で認定された校正業務はISO 17025によって品質保証
- 室温変化は $\pm 0.03^{\circ}\text{C}$ 以下に管理



業界比約3倍の剛性

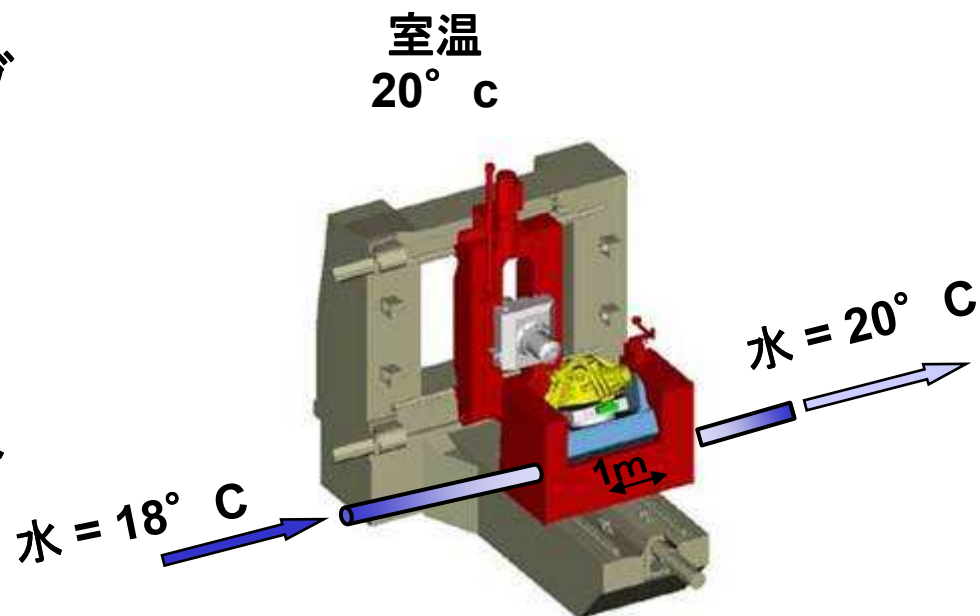
- 静的剛性は弱点のない、均一的な剛性を保っているため、業界の標準値の**3倍**
 - 標準機 $\approx 30 - 40 \text{ N}/\mu\text{m}$
 - DIXI の機械 $\approx 120 \text{ N}/\mu\text{m}$
- 動的剛性は高周波で業界の標準の周波数の**2-3倍**も高い。
 - 標準機 $\approx 30 - 40 \text{ Hz}$
 - DIXIの機械 $\approx 80 \text{ Hz}$ 自己周波数



熱変位完全制御

熱源になるものはすべて冷却:

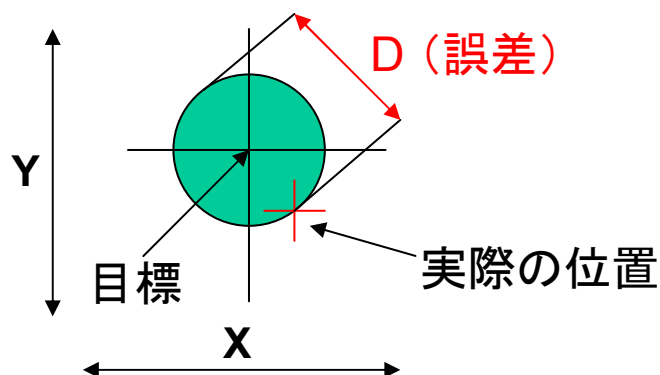
- ボールねじサポートベアリング
- ボールねじナット
- 主軸ボールベアリング
- 主軸モータ
- B軸、C軸DDモータ
- 制御盤
- 切りくず流しクーラント
- 油圧装置



ナノ領域に迫る高精度を実現

- 4軸機で15 μm 、5軸機で25 μm 以内の加工誤差を保証
- 上記の加工誤差を達成するためには、各軸の精度は1 μm 以下の達成が必要

⇒ ナノ精度加工の世界へ



以下のような誤差を仮定すると、

$$X = 0.001\text{mm} (1\mu\text{m}), \quad Y = 0.001\text{mm} (1\mu\text{m})$$

誤差は以下のように定義される。

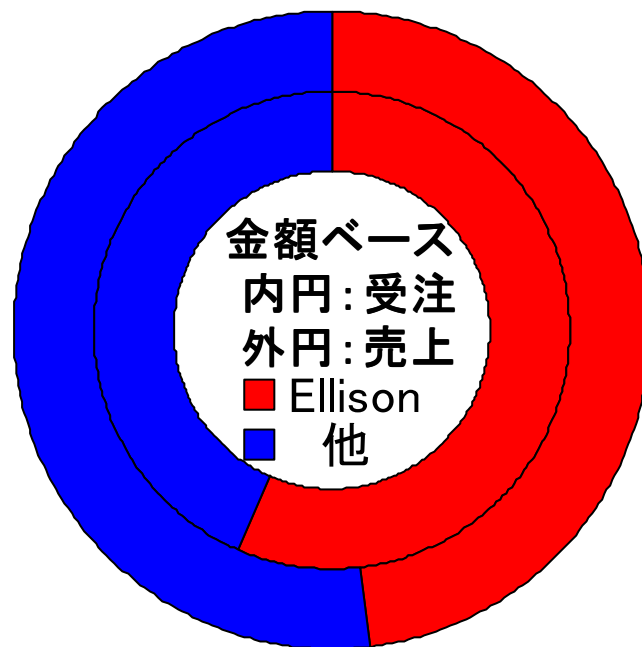
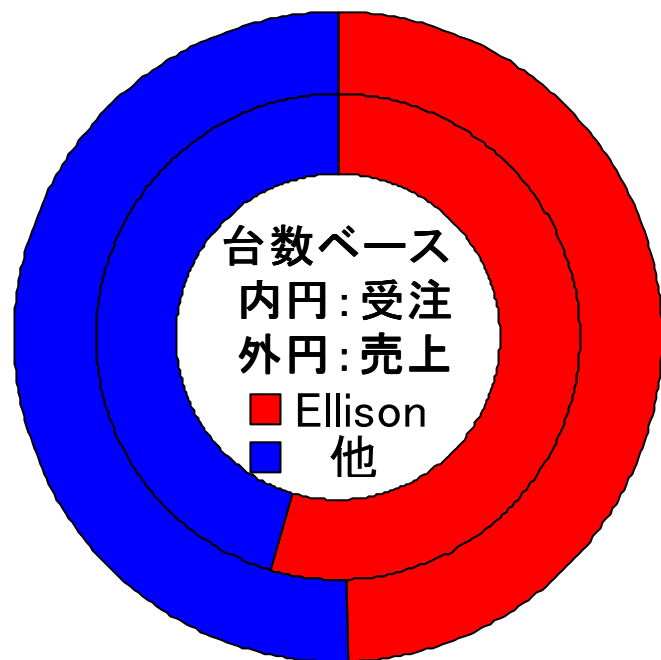
$$D = 2\sqrt{X^2 + Y^2} = 0.0028 \text{ mm} (28\mu\text{m})$$



他地域での概況

三井物産と森精機が 米国ディーラーEllison社に出資

Ellison社 売上約210百万ドル、従業員約450名
出資比率：三井物産71%、森精機9%、既存株主20%



2007年度Ellison社販売目標 1000台



三井物産と合併で森精機モスクワの設立

社名 : Mori Seiki Moscow LLC

本社 : モスクワ (社長 : 太田 好三)

出資比率 : 三井物産51%、森精機49%

目標 : 2013年 : 30億円の売上

3月に会社登記完了済み

営業・サービス拠点

2007年新規開設TC(海外)

インド テクニカルセンタ
07年6月オープン予定



モスクワ テクニカルセンタ
07年5月開所式





トピックス・長期方針

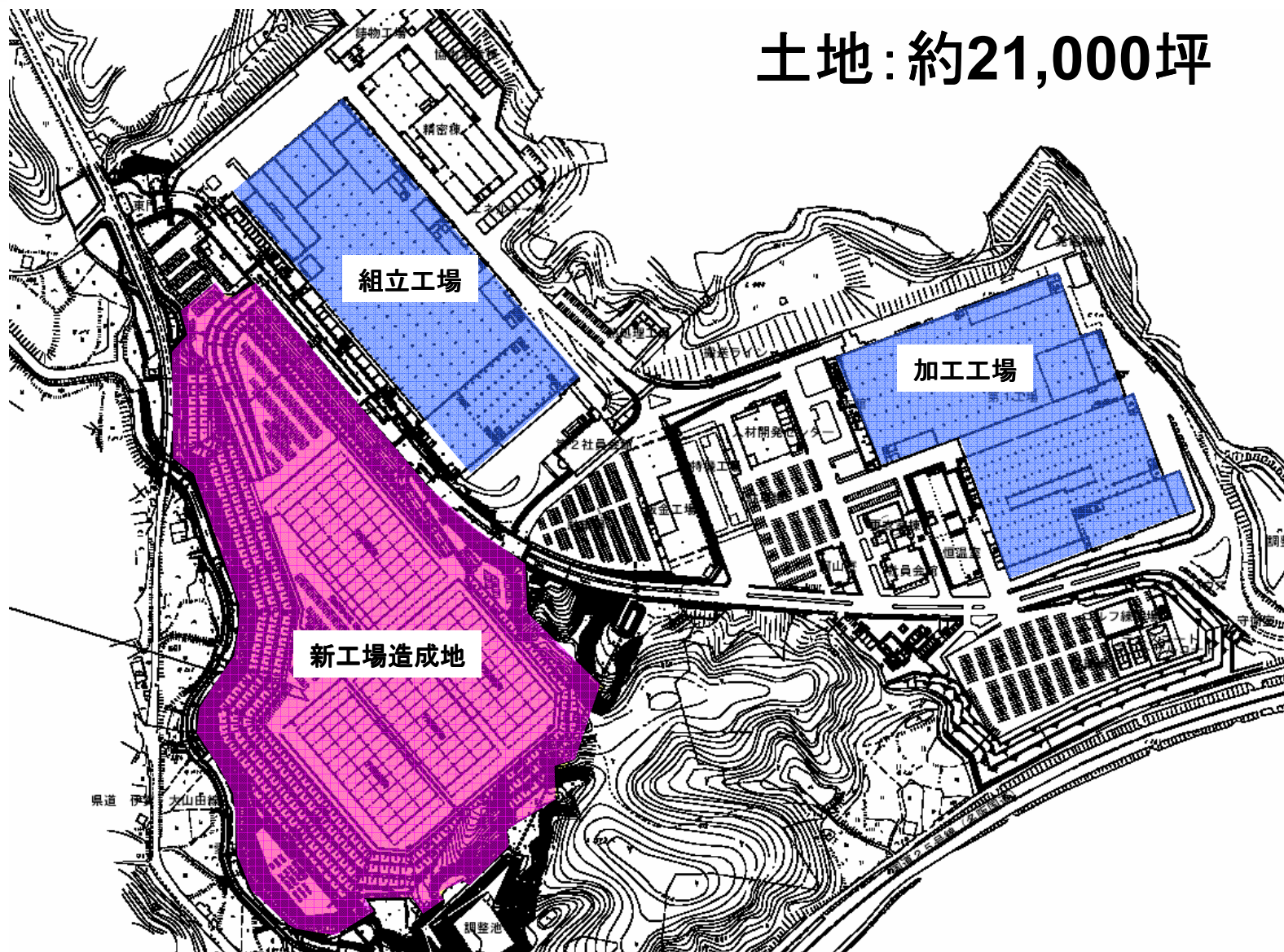
- ・設備
- ・人材
- ・販売促進(展示会)



トピックス・長期方針 【設備】

伊賀新工場造成

土地：約21,000坪



秋篠金型研究所



所在地
資本金
事業内容

奈良県大和郡山市北郡山町
1億円

- ・ 工作機械用板金・周辺機器・治工具・
部品の設計、製造及び販売
- ・ 金型部品の設計、製造及び販売

業務開始日

5月25日の開所式をもって開始



秋篠金型研究所

- 目的:**
1. 徹底した機械加工仕上げを目指した金型製作を通して蓄積した技術をベースに、機械拡販を支援する
 2. 金型部品加工に有効な機能・操作性等、機械の性能向上につながる提案を行う

通常のコ型メーカーとの相違点:

金型製作技術は金型メーカー独自のノウハウであり、通常公開されない。

秋篠金型研究所は、顧客に開かれた金型工場として、そのノウハウをオープンにする。(CAM、工具、周辺機器、加工法等についての情報)





トピックス・長期方針

【人材】



採用活動状況

- ・2007年度新入社員数
124名（大卒65名、高専卒22名、高卒37名）
- ・2006年新入社員定着率 100%
- ・就職ブランドランキング（RECRUIT社調べ）

2005年度 798位



2006年度 277位
に大幅ランクUP



森精機Way

- 理念1 明確で、積極的な長期計画とビジョンに基づいて行動する。
- 理念2 事業を行っている全ての分野、進出する全ての分野で成功を収める。
- 理念3 長期的な財務の安定と資金を確保する。

・・・全10項目の理念



森精機ユニバーシティ

目的

1. 経営理念と森精機WAYの社員への浸透を図る。
2. 次代を担うマネジメント層を育成する。
3. アプリケーションエンジニア、サービスエンジニア、設計エンジニア、営業担当者、製造技能者、管理スタッフ等社内各部の専門家を育成する。
4. 社内のチームワーク、コミュニケーション能力を向上させる。

森精機ユニバーシティの施設紹介

人材開発センタ



蓼科セミナーハウス



合歓の郷セミナーハウス



シカゴMSU



トピックス・長期方針 【展示会】

INTECに出展(2007.03.14~17)

- ・開催場所 : Intec Leipzig
- ・出展機種 : NL1500SY/500, DuraVertical 5060,
DuraTurn 2550





展示会予定

- **INTERMOLD 2007**: 4月25日-4月28日
— 東京ビッグサイト(54小間)
- **2007 自動車部品生産システム展**: 6月13日-16日
— 東京ビッグサイト(12小間)
- **初夏プロダクティビティショー**: 6月21日-23日
— 森精機製作所 伊賀事業所(三重県)
- **EMO 2007**: 9月17日-22日
— ハノーバーメッセ(320小間)
- **MECT2007**: 10月17日-20日
— ポートメッセなごや(50小間)
- **初冬プロダクティビティショー**: 11月15日-17日
— 森精機製作所 千葉事業所(千葉県)

MORI SEIKI
THE MACHINE TOOL COMPANY

